

## 4. 企業活動と情報システム

### 4. 2 経営戦略（ビジネスシステム）

#### 問題 1

店舗で商品を販売した時点で販売情報を記録し、商品売上情報を单品ごとに収集、蓄積、分析するシステムはどれか。

- ア. CTI
- イ. POS システム
- ウ. トレーサビリティシステム
- エ. バンキングシステム

#### 問題 2

経営戦略が策定され、その戦略の一つに“営業部門の組織力強化”が掲げられた。この戦略を実現するための情報システムとして、適切なものはどれか。

- ア. DTP
- イ. ETC
- ウ. GPS
- エ. SFA

#### 問題 3

電車の定期券などとして利用される非接触型 IC カードに用いられている技術はどれか。

- ア. IrDA
- イ. RFID
- ウ. バーコード
- エ. 無線 LAN

#### 問題 4

スマートグリッドに関する説明として、適切なものはどれか。

- ア. コンピュータ内蔵の電力制御装置をネットワークで結ぶことで、自立的な電力需給制御を可能にした電力ネットワークである。
- イ. 専用 OS などを利用することで、PC の機能を実現できるように製造された多機能携帯電話である。
- ウ. ネットワークに接続されたコンピュータ資源を、いつでも、どこからでも利用できるようにした分散コンピューティングである。
- エ. プラスチック製のカードに IC チップを埋め込むことで、情報を記録できるようにしたカードである。

#### 問題 5

SFA システムの運用において管理すべき情報として、最も適切なものはどれか。

- ア. 顧客への訪問回数、商談進捗状況、取引状況などの情報
- イ. 社員のスキル、研修受講履歴、業務目標と達成度などの情報
- ウ. 商品の販売日時、販売個数、販売金額などの情報
- エ. 製品の生産計画、構成部品とその所要数、在庫数などの情報

#### 問題 6

トレーサビリティに該当する事例として、適切なものはどれか。

- ア. インターネットや Web の技術を利用して、コンピュータを教育に応用する。
- イ. 開発部門を自社内に抱えずに、開発業務を全て外部の専門企業に任せる。
- ウ. 個人の知識や情報を組織全体で共有し、有効に活用して業績を上げる。
- エ. 肉や魚に貼ってあるラベルをよりどころに生産から販売までの履歴を確認できる。

#### 問題 7

電子証明書の申請から電子入札までの手続きが図の①～⑥の手順で行われるとき、④で行う手続きとして、適切なものはどれか。

- ア. 開札結果の連絡
- イ. 電子証明書の発行
- ウ. 電子証明書の有効性の確認
- エ. 電子入札の実施

#### 4. 2 経営戦略（エンジニアリングシステム）

##### 問題 1

CIM に関する説明として、適切なものはどれか。

- ア. 企業活動を主活動と支援活動に分け、それに利益を加えて全体の付加価値を表すシステム
- イ. 原材料や部品の調達から製造、流通、販売までの商品提供の流れを管理するシステム
- ウ. 顧客情報を管理して、顧客と継続的な関係を構築するシステム
- エ. 製品の製造から販売までの情報を共有・管理して、生産性を高めるシステム

##### 問題 2

製造業において利用されている CAD の説明として、適切なものはどれか。

- ア. 製品の生産計画に合わせて必要な資材の所要量を求め、資材の手配を行う。
- イ. 製品の製造に必要な部品や中間製品、所要量などの情報を管理する。
- ウ. 製品の設計図や部品表など、設計から製造に関する情報を一元管理する。
- エ. 製造の設計にコンピュータを利用し、設計作業の生産性や信頼性の向上を図る。

##### 問題 3

コンカレントエンジニアリングの目的として、適切なものはどれか。

- ア. 開発期間の短縮
- イ. 開発する製品の性能向上
- ウ. 開発する製品の品質向上
- エ. 生産工程の歩留り率向上

##### 問題 4

工程間の仕掛品や在庫を削除するために、必要なものを必要なときに必要な数量だけ後工程に供給することを目的として、全ての工程が後工程からの指示や要求に従って生産する方式はどれか。

- ア. ジャストインタイム生産方式
- イ. セル生産方式
- ウ. 見込生産方式
- エ. ロット生産方式

##### 問題 5

最終製品の納期と製造量に基づいて、製造に必要な構成部品の在庫量の最適化を図りたい。この目的に実現するための施策として、最も適切なものはどれか。

- ア. CRM システムの構築
- イ. MRP システムの構築
- ウ. POS システムの構築
- エ. SFA システムの構築

##### 問題 6

PC の生産などに利用される BTO の説明として、最も適切なものはどれか。

- ア. 自社のロゴを取り付けた製品を他社に組み立てさせる。
- イ. 製品を完成品ではなく部品の形で保存しておき、顧客の注文を受けてから、注文内容に応じた製品を組み立てる。
- ウ. 必要な時期に必要な量の原材料や部品を調整することによって、生産工程間の在庫をできるだけもたずに生産する。
- エ. 一つの製品を 1 人の作業員だけで組み立てる。

問題 7

ある商品の生産ラインは二つの工程 A、B の順で構成されており、各工程の機械台数、部品 1 個の生産に要する作業時間、不良率は表のとおりである。1 日の稼働時間を 10 時間とすると、この生産ラインの 1 日の生産能力（良品が生産される数）は何個か。ここで、工程 A での不良品は工程 B には送らないものとする。また、機械の故障時間や段取り時間、工程間の仕掛品在庫は考えないものとし、仕掛中のものは終了時間が来ても最後まで仕上げるものとする。

工程	機械台数	作業時間／個	不良率
A	1 台	3 分	5 %
B	1 台	2 分	1 0 %

ア. 171                      イ. 180                      ウ. 200                      エ. 257

4. 2 経営戦略（e ビジネス（電子商取引））

問題 1

EC（Electronic Commerce）に関する説明として、適切なものはどれか。

- ア. 営業活動に IT を活用して営業効率と品質を高め、売上・利益の大幅な増加や、顧客満足度の向上を目指す方法である。
- イ. 企業がもつ経営資源全体を、総合的かつ一元的に計画・管理し、経営の効率化を図る手法・概念である。
- ウ. 小売店の売上と利益を伸ばすことによって、卸売業者・メーカーが自社との取引拡大につなげるための、小売店の経営活動を支援するシステムである。
- エ. 消費者向けや企業間の商取引を、インターネットなどの電子的なネットワークを活用して行うことである。

問題 2

競争優位を形成するための経営戦略の一つとして、インターネットを使った電子商取引の活用がある。電子商取引のうち、“B to C”に当たるものはどれか。

- ア. 一般消費者が出品するオークションサイト
- イ. 一般消費者向けのインターネット通信サイト
- ウ. 他企業への原材料販売などの企業間取引サイト
- エ. 福利厚生目的の自社従業員向け社内販売サイト

問題 3

インターネット上の広告手法の一つであるアフィリエイトに関する説明として、適切なものはどれか。

- ア. あらかじめ受信者の許可を得て、興味のある分野の広告を電子メールで送る。
- イ. 個人のホームページなどに企業の広告や Web サイトへのリンクを掲載し、誘導実績に応じた報酬を支払う。
- ウ. 自社 Web サイトを検索エンジンの検索結果の上位に掲載させる。
- エ. 大規模なポータルサイトなどに自社 Web サイトへの入り口となる画像を設置し、誘導する。

問題 4

インターネットショッピングのロングテール現象の説明として、適切なものはどれか。

- ア. 売上高の大きな商品から得られる利益によって、売上高の小さな商品による損失をカバーすることができること
- イ. 商品を手にとって見ることができないので、店舗販売に比べて販売開始からヒット商品になるまでの時間が長く掛かるようになること。
- ウ. 販売に必要なコストが少ないので、売上高の小さな商品を数多く取り扱うことによって利益を上げられること
- エ. ブログに書かれた評価などの影響によって、商品の発売直後から販売が好調で、時間が経過しても衰えないこと。

### 問題 5

インターネットを利用した広告において、あらかじめ受信者からの同意を得て、受信者の興味がある分野についての広告をメールで送るものはどれか。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| ア. アフィリエイト広告   | イ. オーバーレイ広告   |
| ウ. オプトアウトメール広告 | エ. オプトインメール広告 |

### 問題 6

インターネットで用いられる SEO の説明として、適切なものはどれか。

- ア. 顧客のクレジットカード番号などの個人情報の安全を確保するために、インターネット上で情報を暗号化して送受信する仕組みである。
- イ. 参加者がお互いに友人、知人などを紹介し合い、社会的なつながりをインターネット上で実現することを目的とするコミュニティ型のサービスである。
- ウ. 事業の差別化と質的改善を図ることで、組織の戦略的な競争優位を確保・維持することを目的とした経営情報システムである。
- エ. 利用者がインターネットでキーワード検索したときに、特定の Web サイトを一覧のより上位に表示させるようにする工夫のことである。